

感想文

発表高校生1：医学や薬学に関係のある多くの方が集まり、自分たちの研究成果を発表し、そしてそれについて議論する場は初めてでとても有意義な3日間でした。どの討論会も専門用語が多く私にとっては難しい表現も多々ありましたが将来はこういう場で発表したり積極的に議論に参加していけたらいいなと思いました。

発表高校生2：1年間の課題研究の成果を日本薬理学会というとても大きな舞台で発表させていただくことができ本当に嬉しかったです。矢上先生から、学会で発表しようという話を頂いたときは、貴重な経験ができるということで嬉しい反面、自分が発表者として大勢の専門家の前で話すということにはまだ不安があって戸惑いました。自分が学会に参加することが決まってからは、質問で聞かれそうなことをいろいろと考えて、わからないことは班のメンバーに聞いたり調べたりして自分の知識をより深めていきました。自分自身、中間発表会やサイエンスフェアではうまく発表できなかったり質問にちゃんとした答えを返せなかったりして悔しいと思っていたので、学会ではしっかり自分の仕事をやり遂げたいと思っていました。学会当日、私はポスターのそばで質問に対応しました。どんな質問を聞かれるのか不安と緊張でいっぱいでしたが、準備していた資料などを使ってしっかり答えることができました。これからも研究がんばってくださいという声をかけてくださる方が多くて、それも力になりました。学会で発表することで自分たちの研究を多くの方に知っていただけたのは嬉しかったし、他の発表を見て勉強になることも多くありました。専門家ばかりの学会で話すという経験を高校生のうちにできたことはとても幸せでした。2日目と3日目は自分たちの発表がなかったので、少しでも自分の知識を深めようと思って他の発表をたくさん聞きました。やはりどれも難しくて全く理解できない発表も多かったですが、学会の雰囲気を味わえたり、教授の方々とコミュニケーションをとったり、高校生ではなかなか経験できないことをたくさん経験できたことは私にとって大きな収穫です。学会に参加することができて本当によかったです。ぜひ後輩にも研究成果を学会で発表してほしいと思いますし、自分も今回の経験を将来に生かしていきたいと思います。

発表高校生3：まずは、私達高校生に薬理学会への参加の機会を与えて頂き、ありがとうございました。自らの将来を考える上で、医学・薬学の研究を行い、研究発表の場に参加することが出来たのは大変貴重な経験でした。研究者の方々の発表を聞いていても、まだまだ分からないことが多く、研究内容を理解するのは困難でしたが、それも研究の奥深さを知る良い機会となりました。更に、思いもよらない光栄な賞とサインを頂いたことで、研究の世界への思いがよりいっそう強まりました。この研究と学会参加を通して学んだことを今後に生かしていきたいと思います。1年間という短い間でしたが最後まで御指導頂きありがとうございました。